

地域に内在し世界を構想する JCAS Review

地域研究 Vol. 16 No. 1

総特集

ロシアとヨーロッパの狭間 ウクライナ問題と地域史から考える

福田宏／岩下明裕／遠藤乾／川島真／林忠行
服部倫卓／大串敦／溝口修平／重松尚
板橋拓己／辻河典子／石野裕子／宮崎悠

論文

ミャンマー中央乾燥地域における 農村労働力流出の決定要因

ニャンウー県一農村調査より

水野敦子

論文

現代ロシアにおける民族運動のなかの 「民族文化」表象とその限界

クリャシェン(受洗タートル)の「民族的祭り」を事例に

櫻間瑛

●地域研究コンソーシアム / JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

〔巻頭言〕ダイシユの戦略転換

白杵 陽 004

〔総特集〕

ロシアとヨーロッパの狭間

はぎま

——ウクライナ問題と地域史から考える

〔総特集にあたって〕ロシアとヨーロッパ——狭間の地域研究

福田 宏 008

〔座談会〕地域と地域の間を読み解くために

岩下明裕・遠藤乾・川島真・林忠行

福田宏（司会）

016

〔第一部〕ウクライナをみる視角

〔第一部にあたって〕移ろうマイダンの風景とウクライナ危機

服部倫卓 040

ウクライナの求心的多頭競合体制

大串 敦 046

ウクライナの国民形成とサッカー

服部倫卓 062

ウクライナ危機をめぐる二重の相互不信

溝口修平 077

リトアニアからみたウクライナ問題

重松 尚 091

〔第二部〕両大戦間期の中央ヨーロッパ

〔第二部にあたって〕「危機の時代」における東と西の狭間

福田 宏 110

パン・ヨーロッパとファシズム

——クーデンホーフ＝カレルギーとヨーロッパの境界

福田 宏 118

ヴァイマル期ドイツにおける「西洋」概念の政治化

——ヘルマン・ブラッツと雑誌『アーベントラント』

板橋拓己 137

ロカルノ体制批判とハンガリー地理学

——テレキ・パールの「ヨーロッパ」論から

辻河典子 155

「大フィンランドは祖国と同様である」

——エルモ・カイラとカレリア学徒会の地域構想

石野裕子 173

戦間期ポーランドのマイノリティと居住地

——アポリナリイ・ハルトグラスの残留型シオニズム

宮崎 悠 196

〔論文〕

ミャンマー中央乾燥地域における農村労働力流出の決定要因

——ニャンウー県農村調査より

水野敦子 215

現代ロシアにおける民族運動のなかの「民族文化」表象とその限界

——クリヤシエン（受洗タール）の「民族的祭り」を事例に

櫻間 瑛 240

第四回（二〇二四年度）地域研究コンソーシアム賞受賞作品書評

『地域研究』一四巻二号 特集へのコメント

『地域研究』一五巻一号 特集へのコメント

296 284 269